

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中央林間西物流施設新築工事	階数	地上5F
建設地	大和市中央林間西三丁目3860番1、5、7	構造	RC造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年2月12日
敷地面積	46,257 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組
建築面積	24,303 m <sup>2</sup>	確認日	2021年2月12日
延床面積	113,115 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社大林組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

**LR のスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
中央林間駅から徒歩18分の工業地域に、事務所と工場の複合用途で5F建の物流倉庫を周囲の街並みに調和を図りつつ計画をした。		
<b>Q1 室内環境</b> ・事務室内装には吸音材を使用し、室内の音環境の向上に配慮している。 ・外気の取入れは各種排気と離隔距離を十分にとり、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・建物の耐用性の向上を図るため、耐用年数の長い配管材料を採用している。 ・用途変更可能性を考慮し高い階高の確保や積載荷重増しに依り、ゆとりある設計をした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・空地部分を積極的に緑化し、緑地による良好な景観形成を計画している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・BPI=0.68, BEIm=0.50, LED照明設備を導入している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材やユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。 ・周辺道路の渋滞緩和対策として駐車場の出入口は交差点から十分離れた位置に配置し、トラック待機場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される